

# 世界の半導体市況と日本のあるべき姿

～半導体アプリケーション、製品、先進メーカーの動向～

— 講師 —

グロスバーグ合同会社 代表 大山 聡 氏

日時 2024年8月29日(木) 午前10時～12時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

半導体産業は今では多くの国や地域が「重要産業」と位置付け、戦略的に支援を行っている。

最先端分野では米国が対中規制を強化する中、車載やパワー関連では欧州が中国との連携を強化するなど、様々な動きが見られる。

日本政府も半導体産業の活性化に積極的だが、日系デバイスメーカーが弱体化しているため、外資に頼らざるを得ない政策となっている。

そのような背景を踏まえ、日本の半導体産業のあるべき姿について検討してみたい。

### 1. 半導体市場動向

メモリ、マイクロ、ロジック、アナログ、ディスクリート、光半導体  
米中摩擦と各国や地域の対応

### 2. 半導体アプリケーション動向

情報機器、通信機器、民生機器、車載機器、産業機器

### 3. 大手半導体メーカーの動向

TSMC、Intel、NVIDIA、Samsung、Qualcomm、Broadcom、SK Hynix、  
AMD、Infineon、STMicro

### 4. 質疑応答／名刺交換

## PROFILE 大山 聡(おおやま さとる)氏

1985年 東京エレクトロン入社。1996年から2004年までABNアムロ証券、リーマンブラザーズ証券などで産業エレクトロニクス分野のアナリストを務めた後、富士通に転職、半導体部門の経営戦略に従事。2010年よりIHS Markitで、半導体をはじめとしたエレクトロニクス分野全般の調査・分析を担当。2017年9月に同社を退社し、同年10月からコンサルティング会社Grossberg合同会社に専任。

